

豊かなむらづくり 最高賞



農水大臣賞を受けた東地区集楽環境保全会の会員ら=いずれも下呂市金山町の旧東第一小で

金山の東地区集楽環境保全会

東地区は同町の馬瀬川沿いに位置し、約500世帯が暮らす。もともと林業や製茶業が盛んだった地域だが、人口減少と高齢化が進

下呂市金山町の東地区集楽環境保全会が、農山漁村の優れた振興事例をたたえる「豊かなむらづくり全国表彰事業(東海ブロック)」で、最上位の農林水産大臣賞を受賞した。人口減少で農村環境の維持が難しくなる中、新規就農者の支援やスマート農業の試行、若者の視点を生かした地域おこし事業を進めてきたことが評価された。

(島将之)



東地区に滞在して地域の現状を学ぶ日本福祉大生ら

東地区は同町の馬瀬川沿いに位置し、約500世帯が暮らす。もともと林業や製茶業が盛んだった地域だが、人口減少と高齢化が進

農水大臣賞を受けた東地区集楽環境保全会の会員ら=いずれも下呂市金山町の旧東第一小で

農水大臣賞を受けた東地区集楽環境保全会の会員ら=いずれも下呂市金山町の旧東第一小で



新規就農者支援や地域おこし事業評価

福祉大(愛知県美浜町)と関係人口を増やすため連携協定を結び、学生が地区に滞在して住民と交流している。このほか、都市部の人が地方で働きながら滞在する「ふるさとワーキングホリデー」の受け入れ先にもなっている。

活動の拠点は、児童の減少で21年春に閉校した旧東第一小学校。26日に東海農政局の関係者らが校舎で保全会を表彰し、むらづくりをテーマに会員と意見を交わした。

保全会の佐々木克哉代表(53)は「厳しい状況も続いているが、この地域を残して、田舎にきたい人の受け皿になれるよう頑張りたい」と意気込みを新たに話した。

地区内外でカフェを出店している名和望美さん(40)は「助け合うことができるコミュニティの素晴らしいところ。これからも下呂市と東地区を盛り上げたい」と話した。

保全会は今後、農業以外の起業支援や移住促進のイベントなども計画しているという。